

友だちの写真、勝手に使っていいの？

携帯電話を買ってもらったんだ。
 今度の携帯電話は、カメラが付いていてとてもきれいに撮れるんだ。



みんなの写真をこっそり撮ろう。そして、ブログでみんなに紹介してやるう。



ブログ見たよ。
 ぼくの写真、勝手に公開しては困るよ。



困るな。人の写真無断で撮って、ブログにのせるなんて。



どうしてみんな怒っているんだろう？
 別に悪いことしてないのになあ。



家の人もおどろいているし。すぐ削除してもらわないと。



肖像権のこと知らないのかな？

肖像権とは？

人がみだりに自分の肖像を写真に写されたり、描かれたりしない権利（無断撮影の禁止）

写されたり、描かれたりした自分の肖像を勝手に公表されない権利（無断公表の禁止）

ポイント

無断で写真を撮られたり、公開されたりすることは、だれでもいやなことであり、マナー違反です。肖像権という権利や考え方があることを理解しましょう。

< 背景 >

デジタルカメラや携帯電話のカメラ機能の発達により、だれでも手軽に写真を撮影することができるようになりました。また、インターネット上のブログやWebページに写真を公開することが簡単にできるようになってきました。こうした中、他人の写真を無断で掲載してトラブルとなる事例が増えてきています。

< 事件事故の例 >

例 出会い系サイト

出会い系サイトに顔写真を無断で載せられた女性が、写真家、出会い系サイトを経営する会社及び会社の社長を訴えたケースでは、120万円の損害賠償（慰謝料100万円、弁護士費用20万円）が認められた。

< 指導上の留意点 >

「肖像権」の正しい認識は、「相手の立場になって考える」ことから始まります。

1. 他人の写真や動画を勝手に使わないこと。
2. どうしても使いたい場合は、本人の承諾をもらうこと。
3. 自分が撮影の対象になった場合を想定すること。

どのような写真は撮影されたくないか。

どのように利用されたいやな気持ちになるか。

自分が見られたくない写真や動画を、勝手に公開されたらどう思うか。

「肖像権」というのは、人に勝手に自分の写真を撮影されることを拒否する権利であり、その写真を勝手に公開されることを拒絶する権利です。

< 解説例 >

あなたが、コンサートで出演者の写真を無断で撮ったとします。この写真を、無断でインターネット上に公開したらどうでしょう。このことを、相手の立場で考えてみましょう。

あなたの写真が突然、無断でどこかに使われたら不快感や憤りを覚えると思います。これと同じように、出演者も同じ精神的苦痛を感じるでしょう。

また、あなたはあなたのお金を他人に無断で使われることは許さないはずです。出演者も同様に、自分たちの財産である肖像・写真を他人に無断で使わせないのは当然のことです。

このように、「肖像権」を大切にすることは、基本的人権を尊重することです。

